

平成 29 年 2 月 26 日 (日) 施行

## 第 145 回 日商簿記検定試験 3 級 解説

### 第 1 問

1. 旅費交通費のうち¥20,000 は家事消費のため資本金勘定を減額する。
2. 売却代金のうち¥10,000 の他店商品券勘定、¥2,000 は商品券勘定で処理する。
3. 利息相当額： $¥800,000 \times 0.9\% \times (73 \text{ 日} / 365 \text{ 日}) = ¥1,440$  → 手形売却損
4. 固定資産購入時の付随費用（今回は購入手数料）は取得原価に含めて処理をする。
5. 給料支払時に所得税預り金で処理されているので、納付時は減少させる処理を行う。

### 第 2 問

取引にもとづいて勘定記入をおこなう問題です。

1 月 1 日 借り入れ

(借) 普通預金	1,200,000	(貸) 借入金	1,200,000
----------	-----------	---------	-----------

6 月 30 日 利息の支払い

(借) 支払利息	9,000	(貸) 普通預金	9,000
----------	-------	----------	-------

$$¥1,200,000 \times 1.5\% \times 6 \text{ か月} \div 12 \text{ か月} = ¥9,000$$

9 月 1 日 借り入れ

(借) 普通預金	2,000,000	(貸) 借入金	2,000,000
----------	-----------	---------	-----------

12 月 31 日 利息の支払い・見越計上・損益振替

(借) 支払利息	9,000	(貸) 普通預金	9,000
(借) 支払利息	8,000	(貸) 未払利息	8,000
(借) 損益	26,000	(貸) 支払利息	26,000

$$¥1,200,000 \times 1.5\% \times 6 \text{ か月} \div 12 \text{ か月} = ¥9,000$$

$$¥2,000,000 \times 1.2\% \times 4 \text{ か月} \div 12 \text{ か月} = ¥8,000$$

支払利息勘定 → 費用なので損益振替をおこない、帳簿を締め切ります。

未払利息勘定 → 負債なので帳簿上の貸借差額を次期繰越として締め切ります。

#### 支払利息

6/30	普通預金	( 9,000 )	12/31	( 損 益 )	( 26,000 )
12/31	普通預金	( 9,000 )			
"	未払利息	( 8,000 )			
		( 26,000 )			( 26,000 )

#### 未払利息

12/31	( 次期繰越 )	( 8,000 )	12/31	( 支払利息 )	( 8,000 )
			1/1	前期繰越	( 8,000 )

### 第3問

12月中の取引

5日	(借) 仕入	451,000	(貸) 前払金	70,000
			買掛金	380,000
			現金	1,000
8日	(借) 売上	10,000	(貸) 売掛金	10,000
10日	(借) 当座預金	190,000	(貸) 受取手形	190,000
12日	(借) 未払金	79,000	(貸) 当座預金	79,000
13日	(借) 受取手形	40,000	(貸) 売上	100,000
	売掛金	60,000		
	発送費	2,000	現金	2,000
15日	(借) 水道光熱費	40,000	(貸) 当座預金	40,500
	通信費	500		
17日	(借) 買掛金	90,000	(貸) 支払手形	90,000
19日	(借) 支払手形	140,000	(貸) 当座預金	140,000
20日	(借) 支払家賃	21,600	(貸) 当座預金	21,600
21日	(借) 仮払金	30,000	(貸) 現金	30,000
22日	(借) 受取手形	50,000	(貸) 売掛金	150,000
	当座預金	100,000		
24日	(借) 旅費交通費	28,000	(貸) 仮払金	30,000
	現金	2,000		
25日	(借) 給料	300,000	(貸) 所得税預り金	30,000
			当座預金	270,000
27日	(借) 当座預金	350,000	(貸) 売上	600,000
	売掛金	252,000	現金	2,000
29日	(借) 貸倒引当金	50,000	(貸) 売掛金	50,000

### 第4問

- 1, 事業で使用している自動車にかかる自動車税は「租税公課」で処理をします。それに対して、個人企業の事業から生じた所得にかかる所得税は、個人的な支出なので「資本金」若しくは「引出金」で処理をします。
- 2, 固定資産の機能回復や維持のために支出した金額は「修繕費」で処理をします(収益的支出)。それに対して、固定資産の改良等で固定資産の価値が上がる、耐用年数を延長させる等の効果がある場合に支出した金額は固定資産(今回は建物)の増加として処理をします(資本的支出)。

## 第5問

未処理事項・決算整理事項

### 1. 有価証券

(借) 未収入金	435,000	(貸) 有価証券	450,000
有価証券売却損	15,000		

### 2. 売掛金

(借) 普通預金	40,000	(貸) 売掛金	40,000
----------	--------	---------	--------

### 3. 現金過不足

(借) 仮受金	30,000	(貸) 現金過不足	35,000
雑損	5,000		

### 4. 売上原価の算定

(借) 仕入	370,000	(貸) 繰越商品	370,000
繰越商品	340,000	仕入	340,000

### 5. 減価償却

(借) 減価償却費	150,000	(貸) 備品減価償却累計額	150,000
-----------	---------	---------------	---------

減価償却費： 備品  $¥1,200,000 \div 8 \text{年} = ¥150,000$

### 6. 貸倒引当金の設定

(借) 貸倒引当金繰入	4,000	(貸) 貸倒引当金	4,000
-------------	-------	-----------	-------

差額補充法： $(¥590,000 - ¥40,000) \times 2\% - ¥7,000 = ¥4,000$

### 7. 貸付金利息（収益の見越）

(借) 未収利息	3,750	(貸) 受取利息	3,750
----------	-------	----------	-------

$¥500,000 \times 3\% \times 3 \text{か月} \div 12 \text{か月} = ¥3,750$

### 8. 給料（費用の見越）

(借) 給料	10,000	(貸) 未払給料	10,000
--------	--------	----------	--------

### 9. 受取地代（収益の繰延）

(借) 受取地代	3,400	(貸) 前受地代	3,400
----------	-------	----------	-------

$¥6,800 \times 1 \text{か月} \div 2 \text{か月} = ¥3,400$